



明治期の政治家・歌人 **安部井 磐根** (1832~1916)



弘化3年(1846年)15歳のとき、父に従って江戸藩邸に移り奏者番^{そうじゃばん}を命じられる。幼少より向学の志が高く、感情豊かな青年期には国学者・本居宣長^{もとりのりなが}に傾倒し、宣長が心血を注いだ「古事記伝」を探し求めて膨大な量の48巻をすべて写本した。また、詠歌・書にも優れていた。

戊辰戦争の際には最後まで勤皇の志^{きんのう}を貫き、会津・仙台藩への藩使者に随行して帰順工作に奔走した。戦後、城内にて自害した父に代わって家督を継ぎ、明治2年(1869年)町奉行となり、同3年から5年まで若松県(会津)の少参事・権典事^{ごんでんじ}などを歴任し帰郷、同8年に自由民権結社「明八会」^{めいはちかい}を組織し政治活動を開始している。

明治11年(1878年)福島県開設に伴い、議員に選出され初代議長に就任、その手腕力量は実に堂々とし、また弁論は満場を圧したといわれている。同12年郡役所制度創設に際し、初代安達郡長に任命され、同15年には時の県令・三島通庸^{しみしまちゆね}の専横に憤慨し辞職したが、同19年に再び県会議員に当選し議長に選出され県政の発展に尽力した。

明治23年(1890年)第1回帝国議会開設に伴い衆議院議員に初当選、以来4回当選を果たし、この間、全院委員長、さらに衆議院副議長を歴任している。特に同26年には時の議長・星亨^{ほしとある}が官紀腐敗に連座したため、議会の品位を汚した事への議長弾劾演説を行い、除名・院外追放に追い込んだ。また、国会において外尊内卑の欧化主義から外人自由活動容認の内地雑居政策に反対し、大井憲太郎^{おおいけんたろう}ら同志と大日本協会を結成し治外法権撤廃・現行条約履行を叫び、その建議案を提出するなど政府批判の矢面に立ち国会の停会・解散の原因をつくったことは有名な話である。

明治35年(1902年)政界を引退。以後公職に就かず、市内郭内(旧・北條谷^{ほりょうだに})の地で好きな梅の木を愛しながら、もっぱら国学や和歌そして書道に親しみ悠々自適の余生を過ごした。

大正5年(1916年)11月19日、84歳の高齢をもって死去。法輪寺(市内松岡)に眠る。



二本松ふるさと人物史
二本松市ウェブサイト

二本松警察署からのお知らせ

犯罪発生状況(令和4年1月~3月末)

	二本松地区	安達地区	岩代地区	東和地区	合計	前年対比
侵入盗	1				1	-1
空き巣						
出店荒し						
その他		1		1	2	
非侵入盗	1(1)	5(3)			6(4)	-7
車上ねらい			1		1	1
その他		3			3	1
自転車盗						-1
器物損壊	1(1)				1(1)	-3
住居侵入		1		1	2	1
その他	4(1)				4(1)	-5
合計	7(1)	10(3)	1	2	20(6)	-14
前年対比	-9	-3	-3	1	-14	

※()は3月の発生件数



地域で子供の見守りを!!
日常生活の中、気軽にできる「ながら見守り」活動の協力をお願いします。



二本松地区防犯協会連合会では、自動録音機を貸し出しいたします。

なりすまし詐欺や悪質商法の被害防止のため、不審電話撃退装置無償貸し出し中!

希望の方は二本松警察署にご相談ください。



POLICEメールふくしまに登録されましたか?

~県内の登録者数が4万7千件を超えました!~
二本松署管内登録者1500件以上

(令和4年1月末現在)

警察から身近な犯罪の発生情報、なりすまし詐欺被害防止情報、不審者情報をメール配信しています。

まだ登録していない方は是非登録をお願いします。



登録専用アドレス(QRコード、または pmf01@uh28.asp.cuenote.jp)

に空メールを送信してください。

二本松警察署電話 23-1212